

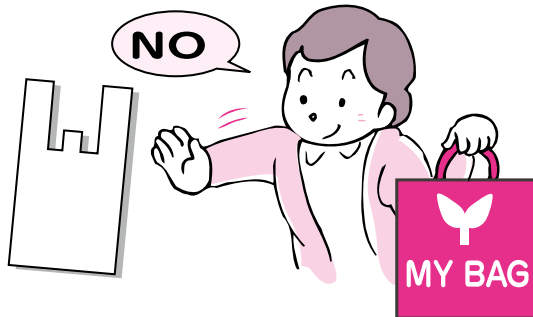


なりたエコニュース

1日100グラムの減量にチャレンジ

成田富里いずみ清掃工場で処理される可燃ごみの量は増加傾向にあります。豊かな自然を守るためにもごみを減量していかなければなりません。

市民一人一人が1日100グラムのごみを減量すると、市全体で1日約13トン、1年間では約4,745トンのごみが減ることになります。1日100グラムのごみの減量は難しいと思われるかもしれませんが、毎日の生活の中の少しの心掛けで、気軽に実行できます。



- 資源物をきちんと分別しましょう
新聞紙・広告1日分で260グラム
- 生ごみは捨てる前にひとしぼりしましょう
水切り1回で10～30グラム
- 買い物のときはマイバッグ・マイバスケットを持っていきましょう
レジ袋1枚で4～10グラム
- 詰め替え用の商品を選びましょう
シャンプー容器で70～80グラム
- マイ水筒を持ち歩きましょう
500ミリリットルのペットボトルで40グラム
- 食べ残しを減らしましょう
ご飯1膳で150～200グラム

重さはあくまで目安であり、それぞれの大きさや素材によって変わります。ごみの排出をなくすことはできませんが、その量を減らすことはできます。皆様のご協力をお願いします。

くわしくはクリーン推進課（20-1530）へ。



消費生活相談Q&A

引っ越しサービス トラブルにご注意

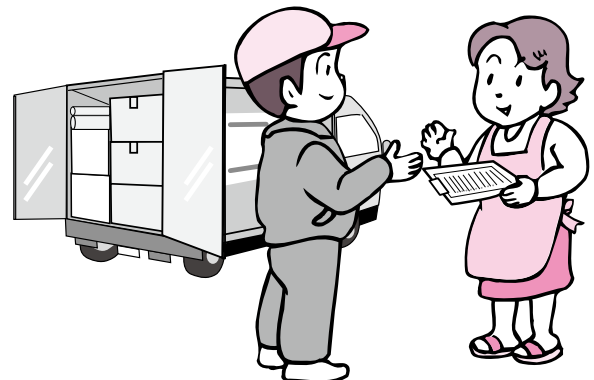
Q 3月に引っ越すことが決まったので、引っ越し業者に依頼しようと思っています。どのようなことに注意して事業者を選べばよいのでしょうか。

A 例年引っ越しが集中する時季です。しっかり計画を立て、早めに準備を進めていくことが大切です。事業者を選ぶ際は、次のことに気を付けましょう。

- 事業許可番号の確認を
国の許可を受けた運送業者が、国が定めた「標準引越運送約款」に基づくルールにより行います。見積書などに記載されている「事業許可番号」を確認しましょう。
- 契約は信頼できる事業者と
電話やインターネットの見積もりではなく、荷物の下見をした上で複数の事業者に見積もりを出してもらい、金額だけではなく実際に顔を合わせて、対応やサービスの内容で信頼できる事業者と契約しましょう。
- 荷物のチェックを忘れずに
退去する部屋や運送車両の中に、残っている荷物がないか、

家具や床に傷が付いてないか、荷物の個数や状態をその場で確認しましょう。「標準引越運送約款」では、荷物の紛失や破損についての事業者の責任は、荷物を引き渡した日から3カ月以内となっています。それを過ぎると責任は消滅するので注意しましょう。

トラブルにならないよう、何かあったらすぐ事業者に連絡しましょう。



くわしくは消費生活センター（23-1161）へ。

